

(「だけ」ではダメ)



「過去を見ずに前を見ろ！」

経験から得た教訓でした。

過去は変えられない。過去の遺産にすがってはいは、これから得られるチャンスを失う。よいことは何もないから、前だけ見るとというのが、理屈でした。

しかし、最近あることがあって、それが間違えのような気がしてきました。

前を見るだけではダメ。過去もたまには振り返って見ないと。

前は筋立てが出来ないから割合と単限で。

しかし、過去は、割合とスパンやターム、つまり時間幅をとって眺め返してみる。

過去を恨んだりののしったり悔やんだりするのではなく、単に事実が生起した順番を見つめる。

すると、思考の見えなかった繋がりがトレンド（時系列）として見えてくることがある。

その過去と前を組み合わせると、意外なことが分かってくる事もしばしばある。

考えてみれば、何事も「だけ」という単一なものではいけない気がします。100%というものはないのですから、必ず何かを入れて、混ぜてみるのが大切なかもしれないと思いました。